

## 令和2年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第四吾嬬小学校
校長名	清水 雅也

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年とも、国語においてはほぼ全ての観点で目標値を上回った(24／25観点)。</li> <li>・2年生と3年生は、全ての観点において目標値を上回った(18／18観点)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生の社会、理科に弱みがある。目標値を上回ったのは1／8観点である。全国平均標準スコアも「社会：53.7→50.8 理科：50.7→49.1」と昨年度を下回った。</li> <li>・4年生の算数に弱みがある。目標値を上回ったのは2／4観点である。全国平均標準スコアも「46.7→49.5→48.8」と、低学年からの課題が未だ解消されていない。</li> <li>・高学年において学力の2極化が進んでいる。</li> </ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生、5年生に標準スコアを上回った観点がある。両学年とも担任が持ち上がり学年であり、本状況下でも学校生活への不安感を低く抑えることができたためと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生、6年生が平均標準スコアを下回った(3年生:-2.1 6年生:-2.7)。学級担任の異動・交代による不安感の高まりが大きな要因と考える。学級の絆を実感できる学級経営を進めていく。</li> <li>・各学年とも、大きな落ち込みはない。少人数・単学級編成の強みを生かし、引き続き個人が活躍する場面を多く設定し、自信をつけさせる環境づくりを進める。</li> </ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数少人数指導においては、自分の理解度に合わせたコースを選択する意識が定着してきた。</li> <li>・校内研究の成果として、理科において課題解決学習(問題→予想→実験→結果→考察→結論)の習慣が定着しつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙量が少なく、自分の考えを表現すること(話すこと、書くこと)が苦手な児童が多い。</li> <li>・家庭学習習慣が未定着な児童が、各学級とも2～3名程度いる。達成感を実感できる課題を提示して意欲を高めるなど、個別対応が必要である。</li> </ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 言語能力の向上

①「書く活動」をより多く取り入れる。

◇全ての教科・特別活動の場面において、書く活動を積極的に取り入れる。また、文字言語に加え、図・絵などを用いて、自分の考え・意見を効果的に表現する学習にも取り組んでいく。

②語彙量を増やす。

◇各教科において学習に必須となる語彙を確実に習得する。日常的に辞書を活用する、子供新聞等の活字メディアに触れる機会をより多く設定し、習得語彙の幅と事象認識の視野を広げる。

③学習の振り返りを徹底する。

◇1単位時間で何をどのように学び、理解したのかを言語化する。これにより、自らの学びの過程や質、課題を明らかにし、次時以降の学習の充実を図る。

④資料活用力を向上させる。

◇適切な資料を集め、読み解き、活用し、学んだことや考えたことを言語化することにより、事象を多面的に理解・表現する力を身につける。

### (2) 課題解決型学習の定着

①校内研究（理科・生活科）のさらなる充実を図る。

◇平均正答率が低い傾向にある理科指導法研究の充実を図る。通常の授業では課題解決学習（問題→予想→実験→結果→考察→結論）の定着が認められるが、学力調査結果には反映されていない。結果反映のためには個別学習・指導の充実が必要であることから、この点を重視した指導法研究を進める。

②課題意識を高める指導を工夫する。

◇全ての学習において、学習課題を明確にしたうえで学習に取り組めるよう、課題提示・単元の導入方法を工夫する。

### (3) 個に応じた指導の充実

①個別指導の充実を図る。

◇算数を中心に、学校支援指導員や SST 等を活用した DE 層児童への個別支援・指導を強化する。

◇低学年に対する支援・指導の機会を増やし、学習支援および学習の基礎となる生活習慣の定着・確立を図る。

## 3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・全ての教科において、D層児童をC層、B層へ引き上げる。
- ・各学年とも、全国平均標準スコア（全教科の平均）を1～2ポイント向上させる。

現2年生：52.4→54.4 現3年生：54.4→55.4

現4年生：51.05→52.05 現5年生：51.2→53.2